



# 特選

## ● 有馬 朗人 選

月鉾の破風の兎の跳ねにけり  
 一心に産着を縫ひし針まつる  
 裏側は煉獄の赤板踏絵

京都 中野 硯池  
 東京 田村登代子  
 長崎 坂口 晴子

## ● 稲畑 汀子 選

すきま風だらけの家に育ちけり  
 残花なほふところ深き吉野山  
 買ふ物のまだありさうな年の市

茨城 笹沼 實  
 奈良 田村 英一  
 岡山 加藤 三雄

## ● 大串 章 選

老いてなほ湘南ボーイ南風吹く  
 新茶汲む夫婦茶碗の月日かな  
 献体の覚悟決めたり虎落笛

静岡 小林美成子  
 千葉 内田 聰子  
 栃木 橋本由紀子

## ● 小川 軽舟 選

風鈴がよろこぶ襦袢替ふるとき  
 人生の集まつてゐる焚火かな  
 斑鳩の白砂の道や新松子

千葉 富士原 友  
 大阪 安里 道子  
 埼玉 林田 美音

## ● 小澤 實 選

風紋に千鳥歩きし跡しかと  
 大寒や空手少女の突きと蹴り  
 一階に妻二階には大百足

広島 坂本たか子  
 千葉 山本 良彦  
 岐阜 近藤 寿昭

●金子 兜太 選

三陸の風を動かす秋刀魚漁  
野の遊び足りたる母の寢息かな  
炎帝の降りて来てゐる爆心地

宮城 相澤 麻乃  
千葉 久我富士枝  
広島 青山 悦子

●黒田 杏子 選

風熄んで雪男体の浮き上がる  
一冊の「暮しの手帖」曝しけり  
ブラジルの空もまつ青終戦日

栃木 島 杜桃  
大分 あべまさる  
ブラジル 山本 幾彌

●高野ムツオ 選

秋風や石は黙つて生きてゐる  
もう聞けぬ父の八月十五日  
やあ君も冬を越したか小灰蝶

千葉 岡田 春人  
長野 山崎 一江  
愛知 河合 敏

●鷹羽 狩行 選

水入りの力士に届け団扇風  
大空を来て水鳥となりにけり  
道をたがへて思はざる大花野

東京 新海 博司  
沖縄 筒井 慶夏  
福岡 松藤 節子

●夏井いつき 選

ムツと風臭ひて猿や青葉山  
稲の波来るきらきらと家滅ぶ  
ラムネ抜く音の大きな映画館

神奈川 吉本由紀子  
秋田 片倉 俊秀  
埼玉 高嶋かさね

● 西村 和子 選

台風の前ぶれの雨飯を炊く  
子は今も働く時間月高し  
蜺舟出揃ひ湖の明けにけり

神奈川 葛野 良子  
香川 岩瀬 良子  
奈良 長谷川紀美子

● 坊城 俊樹 選

冬怒濤屏風ヶ浦の後退り  
身にせまる遺作を胸に夏の月  
炎帝に吠えて打席の砂を蹴る

茨城 安藤 成  
東京 井上美智子  
島根 佐々木ミチ子

● 堀本 裕樹 選

水中花風あるやうに揺れにけり  
あさなさなかなかのこゑひすい  
ろ若き医師七夕竹をかつぎくる

愛媛 横田青天子  
埼玉 海老澤愛之助  
大分 藤井 淳子

● 正木ゆう子 選

春風に乗せて広げる卓布かな  
失ひしものは声のみ初硯  
単純な蜜豆でしたわが青春

大阪 広島 和夫  
愛知 吉田 久一  
東京 上原 恒子

● 宮坂 静生 選

水中花風あるやうに揺れにけり  
投げ石の水切る春は向こう岸  
向日葵を鋤き込む北の大地かな

愛媛 横田青天子  
神奈川 高梨 裕  
静岡 橋本 幸篤